

物件目録 一

一 図面の簡単な説明

第1図は、ソフトクリーム状食品用サーバー1の外観を示す斜視図である。

第2図は、前記ソフトクリーム状食品用サーバー1に、押出容器を装着して保持するための容器保持部4aが設けられた孔付水平台4を示す平面図である。

第3図は、前記ソフトクリーム状食品用サーバー1に対し押出容器を着脱するために、前記孔付水平台4を前傾させた状態を示す側面図である。

第4図は、前記孔付水平台4の容器保持部4aの上方に対置された押圧部材5を示す破断部を含む要部拡大斜視図である。

第5図(a)および第5図(b)は、前記押圧部材5を上下動させる駆動部6の構成と、押圧部材5の動作とを概略的に示す要部説明図である。

二 構成の説明

(1) ソフトクリーム状食品用サーバー1は、押出容器に充填された一回量分のソフトクリーム状食品を喫食用容器内へ押し出すための装置であり、小分け押出容器入りソフトクリーム状食品を保持する孔付水平台4（第1図）と、該孔付水平台4の上方に位置する押圧部材5（第4図および第5図(a)(b)）とを備えている。

(2) 前記孔付水平台4には、押出容器の外形に即した凹部形状を有する容器保持部4aが設けられている。容器保持部4aの底部中央には、押出容器から押し出されたソフトクリーム状食品を排出する押出食品通路4bが形成されている（第2図および第5図(a)(b)）。

また、孔付水平台4は、容器保持部4aを水平姿勢に保つ通常位置と、通常位置から一定角度前傾した前傾位置との間で、往復回動可能な構成となっている。これにより、孔付水平台4を前傾させると、容器保持部4aがソフトクリーム状食品用サーバー1外に露出するので、容器保持部4aに対して

押出容器を着脱することができる（第3図）。

(3) 前記押圧部材5は、前記通常位置にある孔付水平台4の上方であって、容器保持部4aに対向する位置に同心状態で配され、容器保持部4aに対して垂直方向に沿う上下動を行い得るように構成されている。

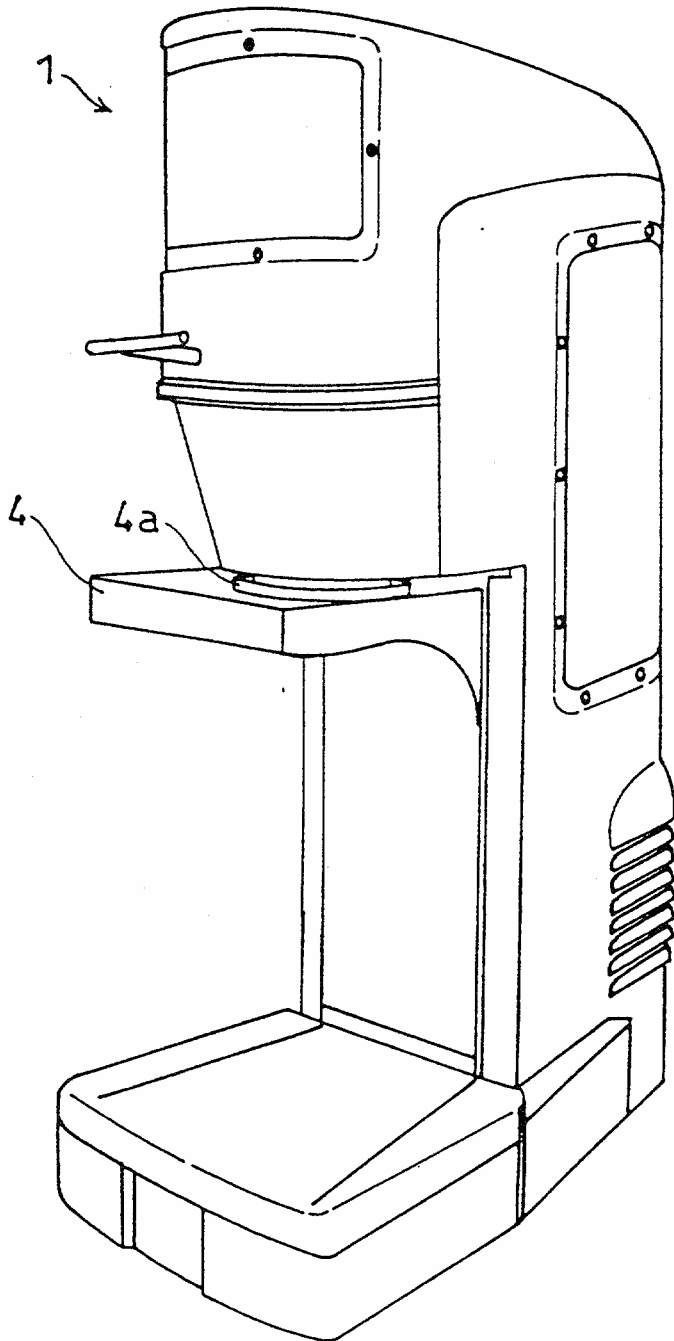
これにより、孔付水平台4と押圧部材5の垂直方向に沿う相対的接近運動の一形態として、押圧部材5が下降すると、押圧部材5の下面が押出容器に当接する。さらに、押圧部材5が下降すると、押出容器2の内容積が圧縮される（第5図(b)）。この結果、ソフトクリーム状食品は、押出容器の圧縮に伴って、押出食品通路4bを通過し、下方で待機していた喫食用容器内に押し出される。

(4) なお、押圧部材5を上下動させる駆動部6は、駆動ロッド6a、プランジヤ16bおよびシリンダ6cを備えている。駆動ロッド6aは押圧部材5の中心から容器保持部4aに対して垂直上方に延び、シリンダ6c内に嵌入している。また、駆動ロッド6aの上端には、シリンダ6c内で滑動するプラ

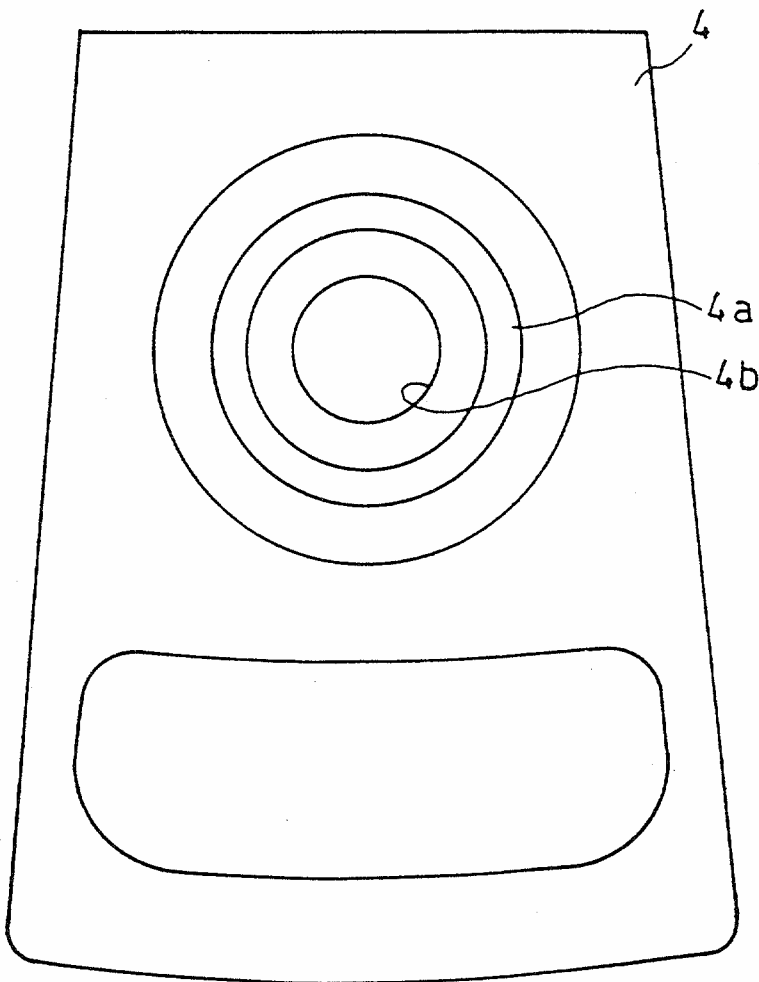
ンジャー 6 b が接合されている。シリンダ 6 c の上面付近および底面付近には、上部吸排気口 6 d および底部吸排気口 6 e がそれぞれ設けられている。

また、容器保持部 4 a に装着された押出容器からソフトクリーム状食品を押し出すときに、押出容器の周縁部を容器保持部 4 a の外周部に押し付けることで、ソフトクリーム状食品が押出容器の周縁部から漏出するのを防止するスカート状の蓋押さえ 6 f が、駆動ロッド 6 a の下方部位にて押圧部材 5 を囲うように配されている。この蓋押さえ 6 f は、スプリング 6 g を介して駆動ロッド 6 a の中央部付近から吊設されている。

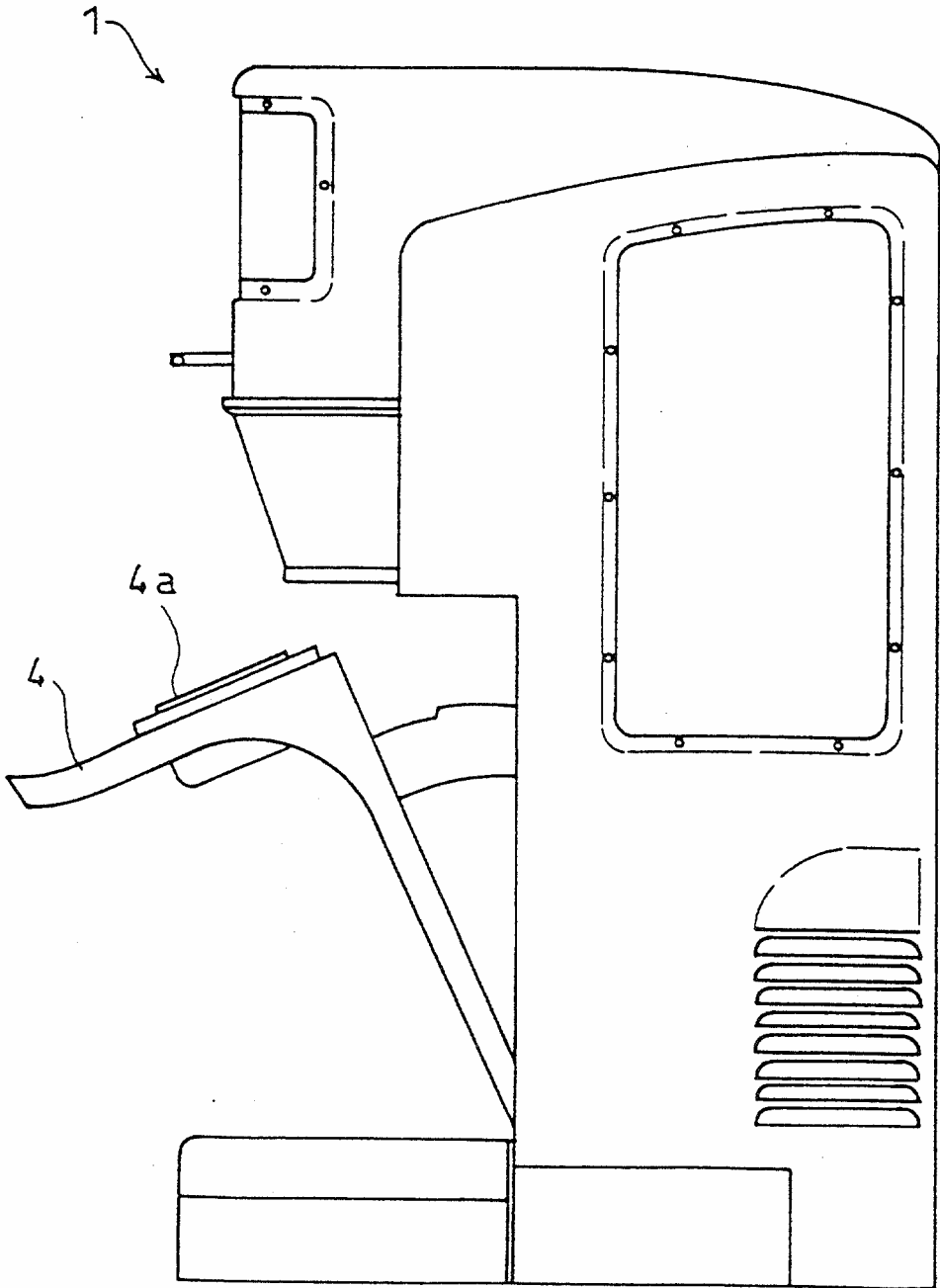
第 1 圖



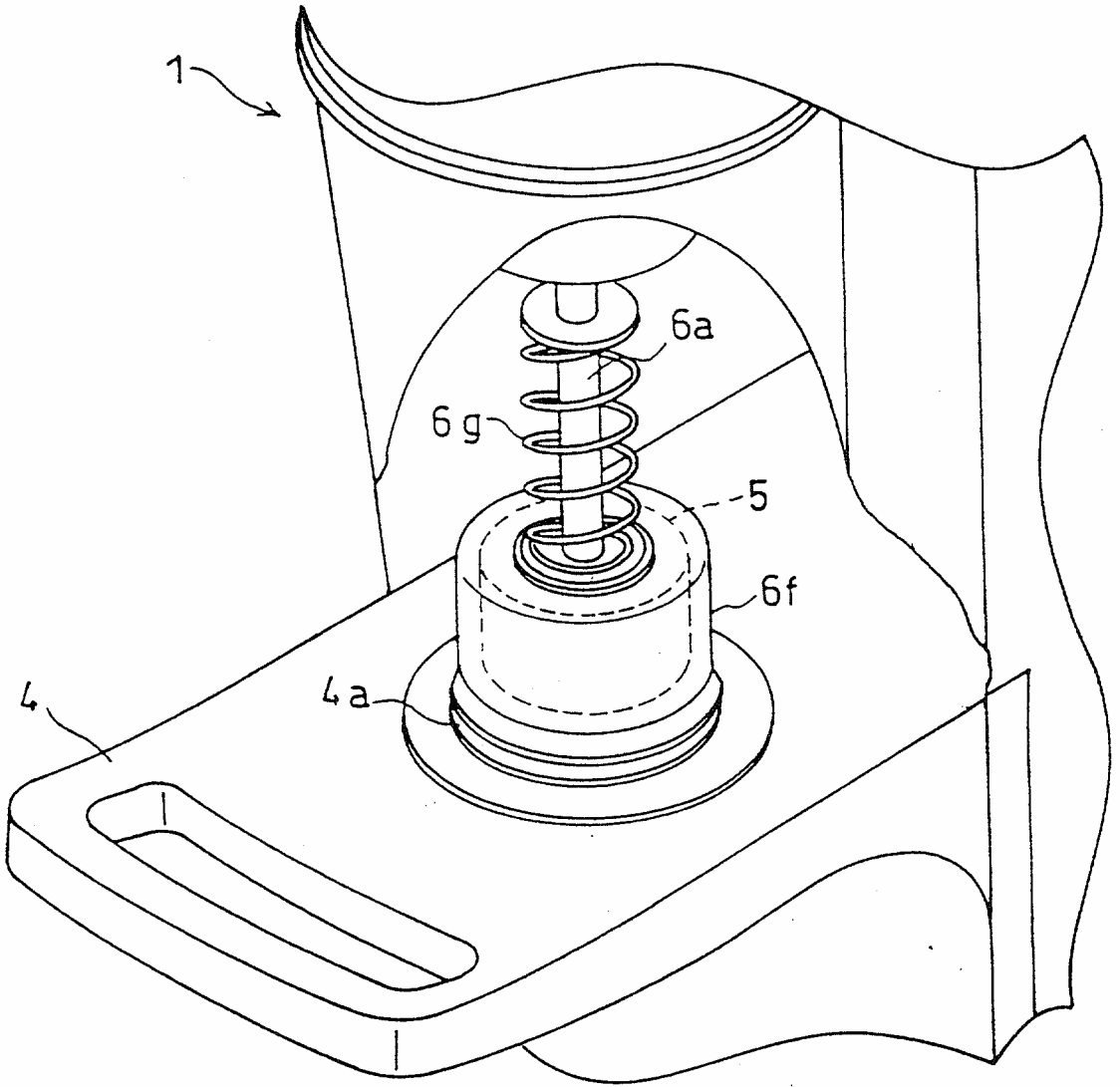
第 2 图



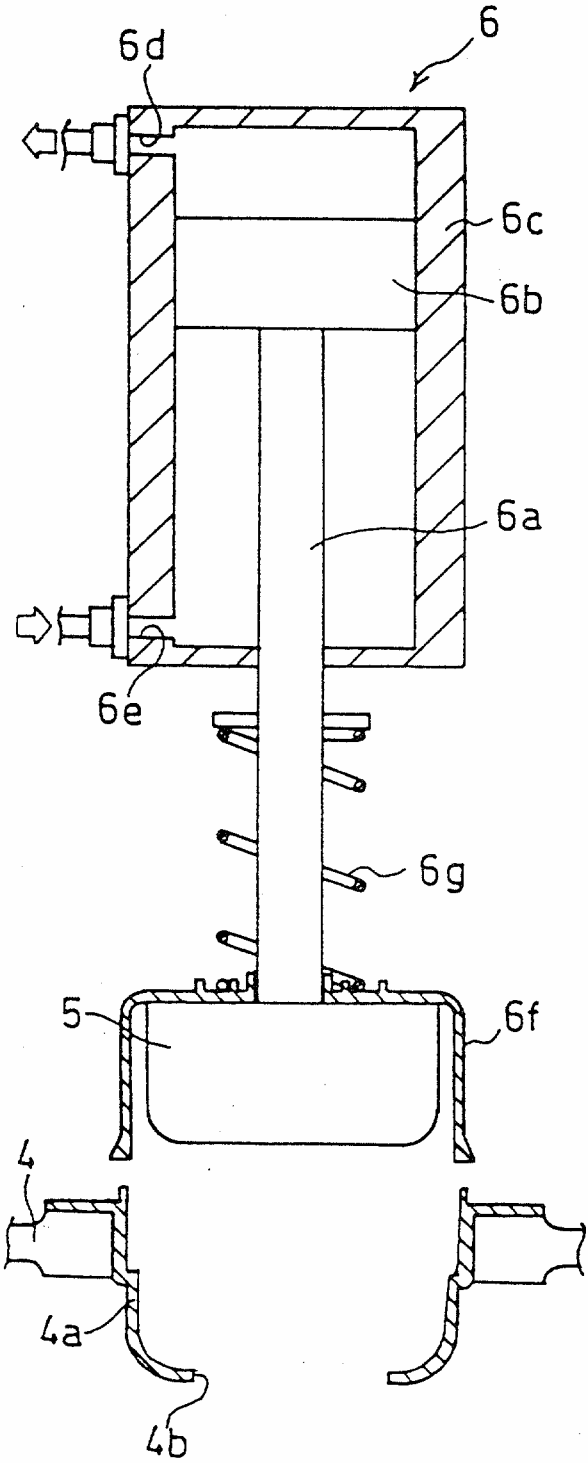
第 3 图



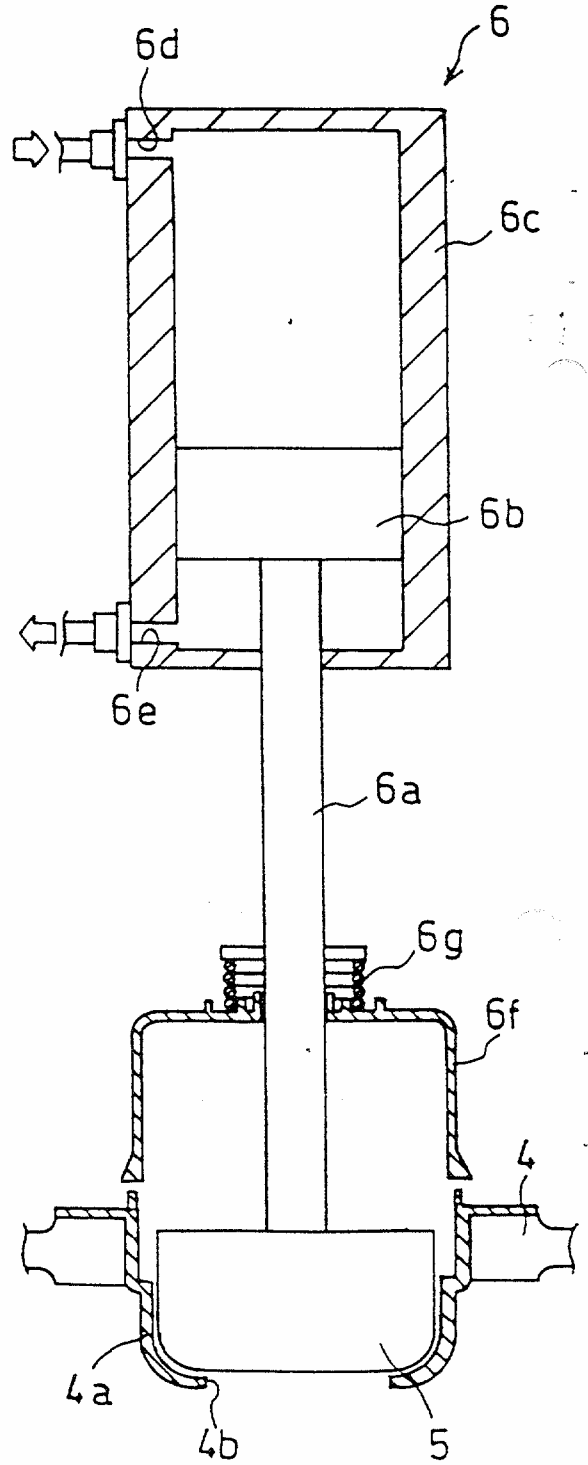
第 4 图



(a)



(b)



イロ号参考図説明書

一 図面の簡単な説明

第1図は、ソフトクリーム状食品用サーバー1の外観を示す斜視図である。

第2図は、一回量ずつのソフトクリーム状食品を充填するための押出容器2の構造を示す縦断面図である。

第3図は、前記ソフトクリーム状食品用サーバー1に、前記押出容器2を装着して保持するための容器保持部4aが設けられた孔付水平台4を示す平面図である。

第4図は、前記ソフトクリーム状食品用サーバー1に対し前記押出容器2を着脱するために、前記孔付水平台4を前傾させた状態を示す側面図である。

第5図は、前記孔付水平台4の容器保持部4aの上方に対置された押圧部材

5を示す破断部を含む要部拡大斜視図である。

第6図(a)および第6図(b)は、前記押圧部材5を上下動させる駆動部6の構成と、押圧部材5の動作とを概略的に示す要部説明図である。

二 構成の説明

(1) ソフトクリーム状食品用サーバー1は、押出容器2に充填されたソフトクリーム状食品を喫食用容器3内へ押し出すための装置であり、小分け押出容器入りソフトクリーム状食品を保持する孔付水平台4(第1図)と、該孔付水平台4の上方に位置する押圧部材5(第5図および第6図(a)(b))とを備えている。

(2) 前記押出容器2は、可塑性樹脂の成形品であり、底面中央部に排出口2aが形成された本体2bと、本体2bに嵌着される蓋板2cと、排出口2aを外側から塞ぐ補助蓋板としての貼付シール2dとで構成されている(第2図)。

また、押出容器2には、喫食用容器3に盛り付けるソフトクリーム状食品

の一回分量が充填されている。

(3) 前記孔付水平台4には、押出容器2の外形に即した凹部形状を有する容器保持部4aが設けられている。容器保持部4aの底部中央には、押出容器2の排出口2aから押し出されたソフトクリーム状食品を排出する押出食品通路4bが形成されている(第3図および第6図(a)(b))。

これにより、押出容器2を容器保持部4aに装着することによって、孔付水平台4は、押出容器2からソフトクリーム状食品を喫食用容器3内へ押し出す間、押出容器2を定位置に保持することができる。

また、孔付水平台4は、容器保持部4aを水平姿勢に保つ通常位置と、通常位置から一定角度前傾した前傾位置との間で、往復回動可能な構成となっている。これにより、孔付水平台4を前傾させると、容器保持部4aがソフトクリーム状食品用サーバー1外に露出するので、容器保持部4aに対して押出容器2を着脱することができる(第4図)。

なお、容器保持部4aに押出容器2を装着する前に、前記貼付シール2d

を本体 2 b から剥がしておく。

(4) 前記押圧部材 5 は、前記通常位置にある孔付水平台 4 の上方であって、容器保持部 4 a に対向する位置に同心状態で配され、容器保持部 4 a に対して垂直方向に沿う上下動を行い得るように構成されている。また、押圧部材 5 は、前記本体 2 b の内側形状に適合した凸形状を有している。

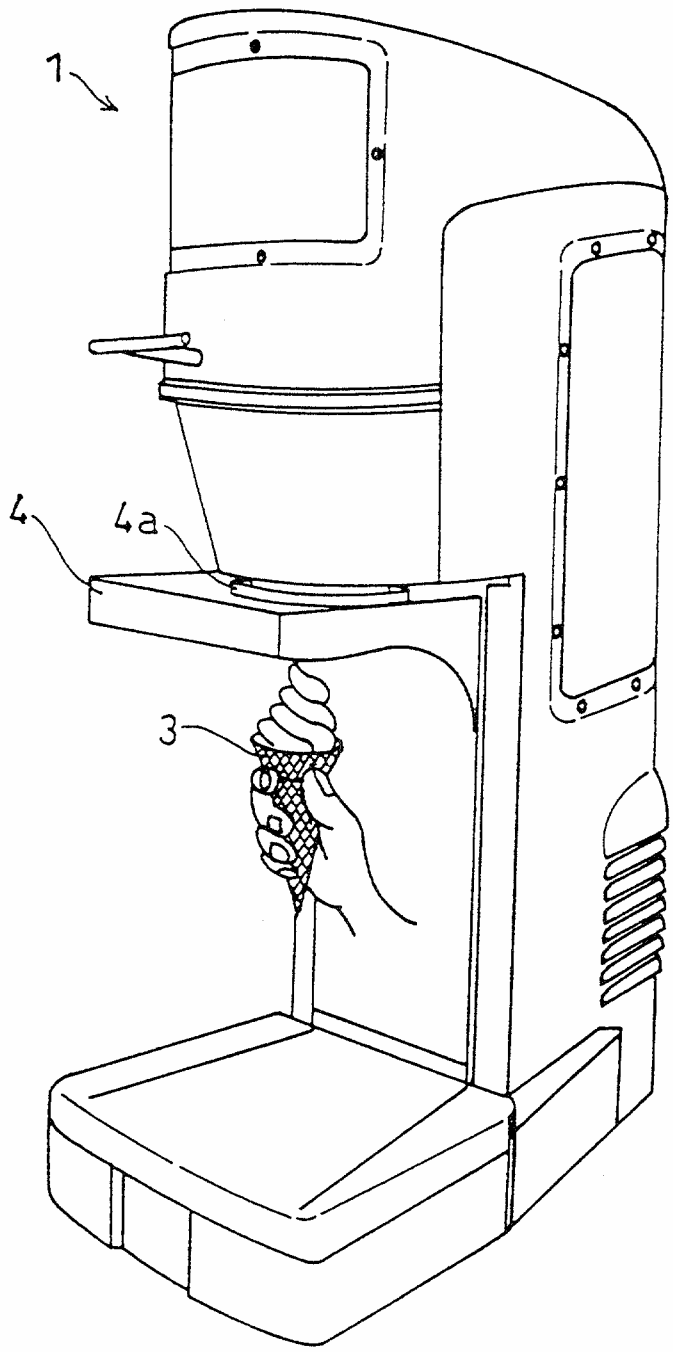
これにより、孔付水平台 4 と押圧部材 5 の垂直方向に沿う相対的接近運動の一形態として、押圧部材 5 が下降すると、押圧部材 5 の下面が押出容器 2 の蓋板 2 c に当接する。さらに、押圧部材 5 が下降すると、蓋板 2 c は押圧部材 5 と一体になって本体 2 b 内に押し込まれるため、押出容器 2 の内容積が圧縮される（第 6 図 (b)）。この結果、ソフトクリーム状食品は、押出容器 2 の圧縮に伴って、押出容器 2 の排出口 2 a および容器保持部 4 a の押出食品通路 4 b を通過し、下方で待機していた喫食用容器 3 内に押し出される。

(5) なお、押圧部材 5 を上下動させる駆動部 6 は、駆動ロッド 6 a、プランジヤ 6 b およびシリンダ 6 c を備えている。駆動ロッド 6 a は押圧部材 5 の

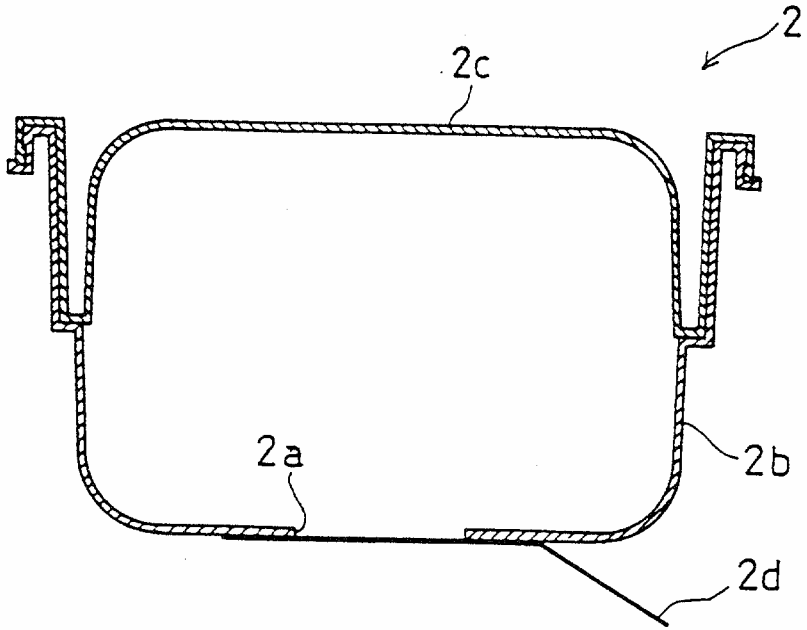
中心から容器保持部 4 a に対して垂直上方に延び、シリンダ 6 c 内に嵌入している。また、駆動ロッド 6 a の上端には、シリンダ 6 c 内で滑動するプランジャー 6 b が接合されている。シリンダ 6 c の上面付近および底面付近には、上部吸排気口 6 d および底部吸排気口 6 e がそれぞれ設けられている。

また、容器保持部 4 a に装着された押出容器 2 からソフトクリーム状食品を押し出すときに、蓋板 2 c の周縁部を容器保持部 4 a の外周部に押し付けることで、ソフトクリーム状食品が蓋板 2 c の周縁部から漏出するのを防止するスカート状の蓋押さえ 6 f が、駆動ロッド 6 a の下方部位にて押圧部材 5 を囲うように配されている。この蓋押さえ 6 f は、スプリング 6 g を介して駆動ロッド 6 a の中央部付近から吊設されている。

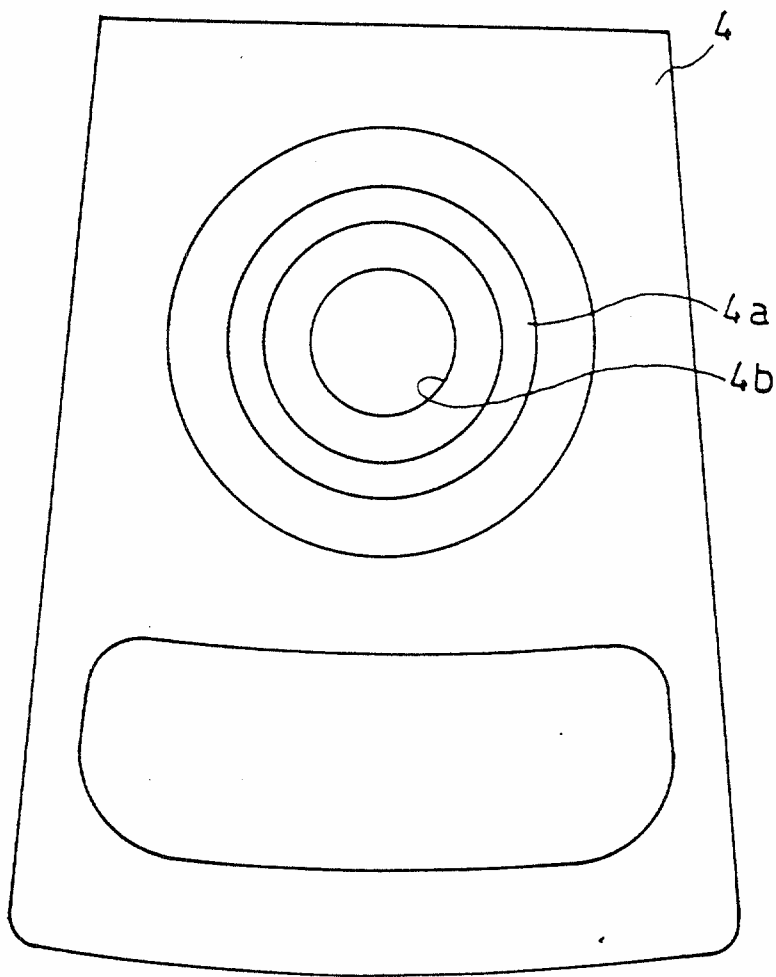
第 1 圖
(參考圖)



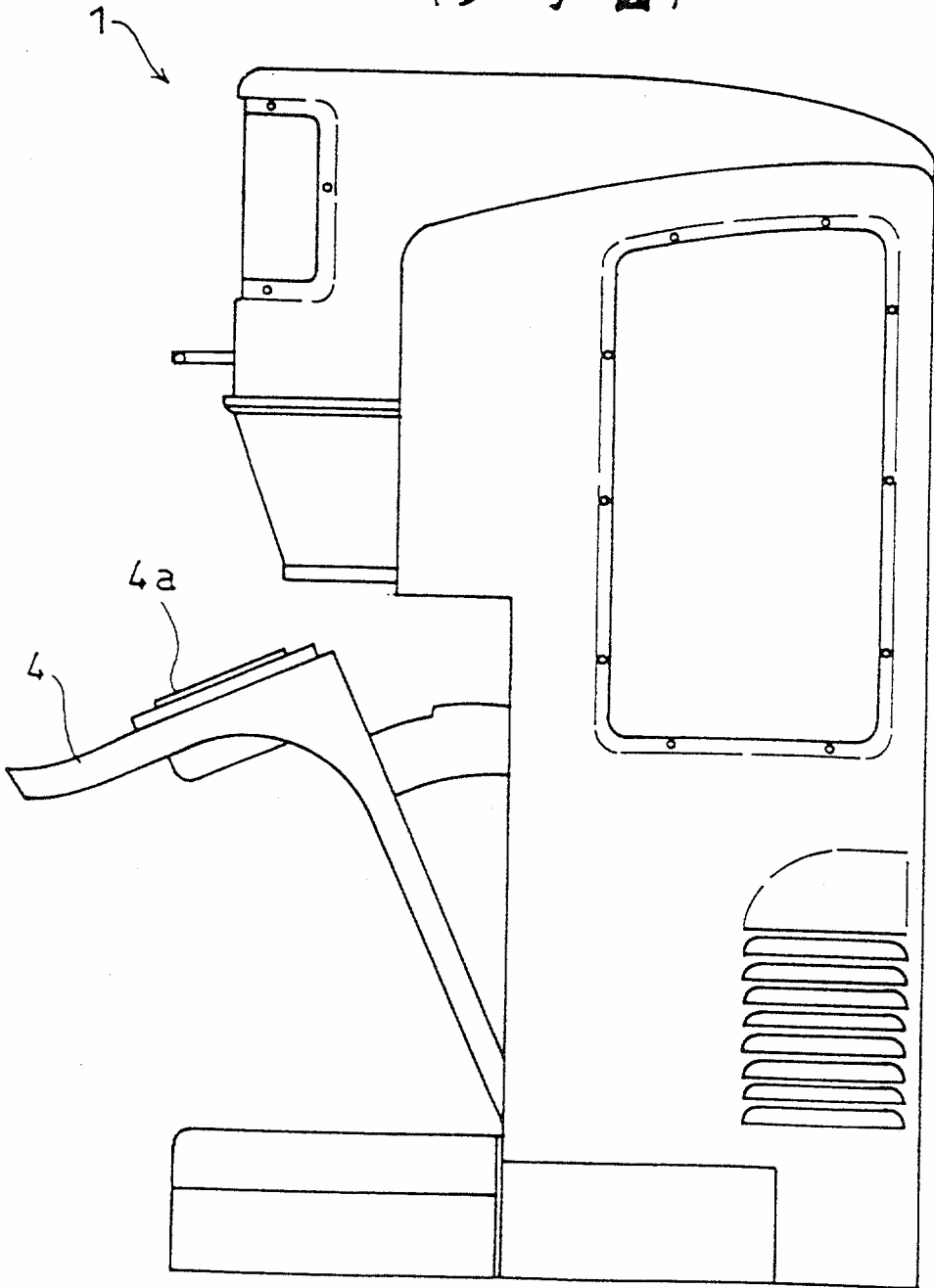
第 2 图 (参考图)



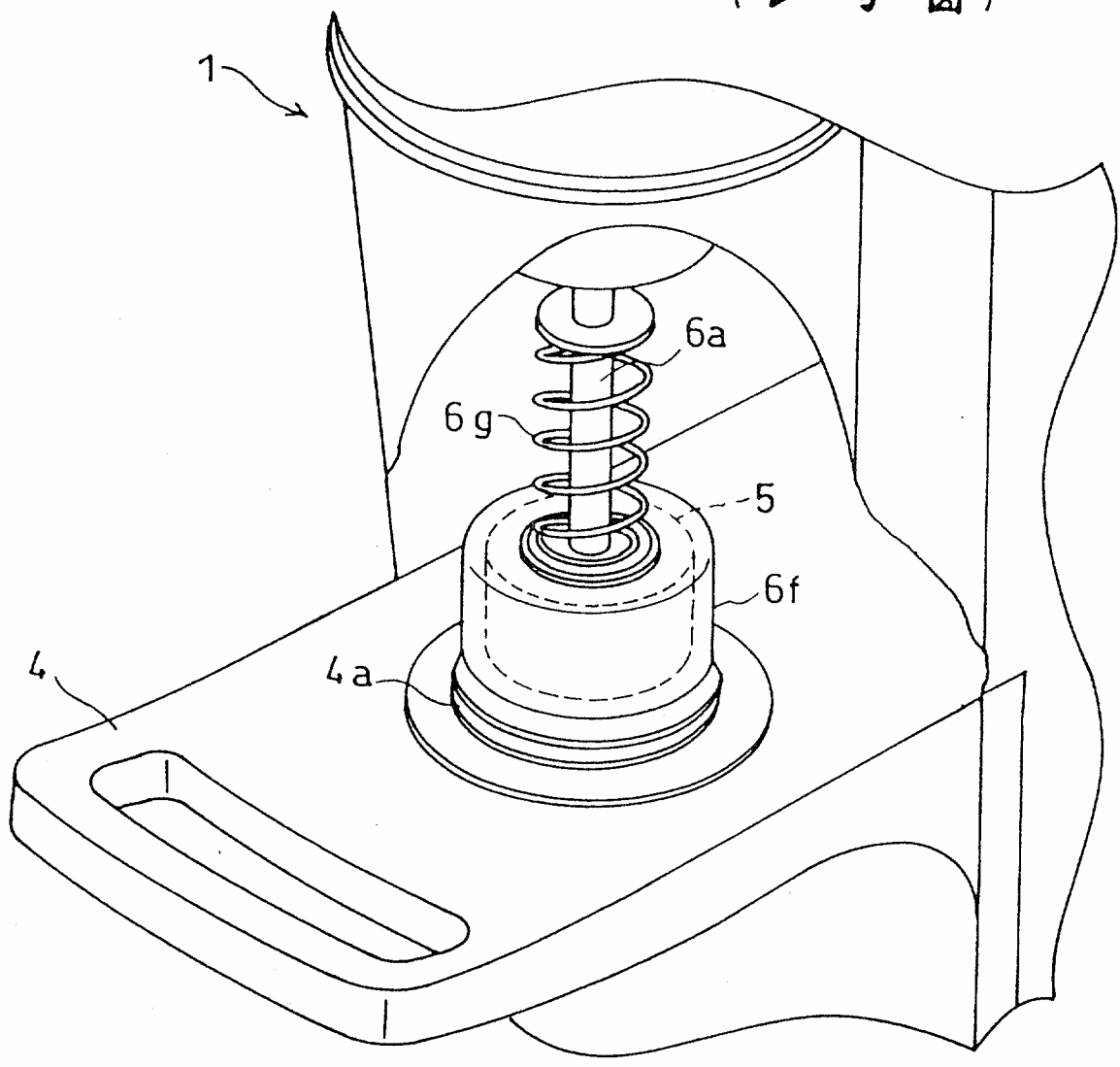
第 3 图 (参考图)



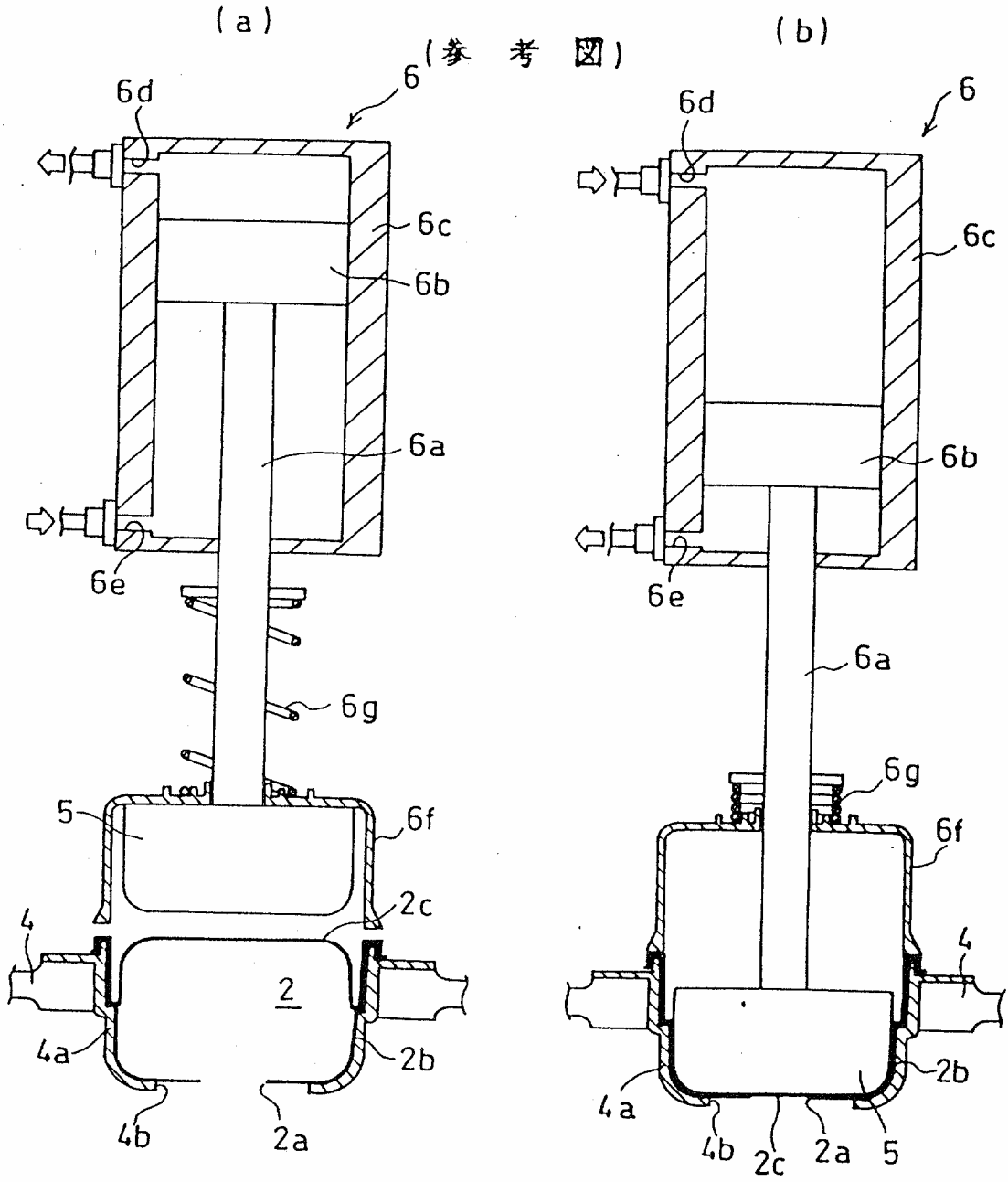
第 4 图
(参考图)



第 5 圖 (參考圖)



第 6 圖



物件 目録 二

一 図面の簡単な説明

第1図は、ソフトクリーム状食品用サーバー1の外観を示す斜視図である。

第2図は、前記ソフトクリーム状食品用サーバー1に、押出容器を装着して保持するために、孔付傾斜台4に設けられた容器保持部4aを示す平面図である。

第3図は、前記ソフトクリーム状食品用サーバー1に対し押出容器を着脱するために、前記孔付傾斜台4を前傾させた状態を示す側面図である。

第4図は、前記孔付傾斜台4の傾斜面に対して垂直方向の上方位置において、容器保持部4aに対向するように配置された押圧部材5を、第1図に図示の矢印A方向から見て示す、破断部を含む要部拡大斜視図である。

第5図(a)および第5図(b)は、前記孔付傾斜台4および前記押圧部材5を相対的に接近させるための駆動部6の構成と、押圧部材5の動作とを概略的に示す要部説明図である。

二 構成の説明

(1) ソフトクリーム状食品用サーバー1は、押出容器に充填された一回量分のソフトクリーム状食品を喫食用容器内へ押し出すための装置であり、小分け押出容器入りソフトクリーム状食品を保持する孔付傾斜台4（第1図および第3図）と、該孔付傾斜台4の斜め上方に位置する押圧部材5（第4図および第5図(a)(b)）とを備えている。

(2) 前記孔付傾斜台4には、押出容器の外形に即した凹部形状を有する容器保持部4aが設けられている。容器保持部4aの底部中央には、押出容器から押し出されたソフトクリーム状食品を排出する押出食品通路4bが形成されている（第1図、第2図および第5図(a)(b)）。

また、孔付傾斜台4は、容器保持部4aを、ソフトクリーム状食品の供給

が行われる通常位置と、通常位置からソフトクリーム状食品用サーバー1の
手前に引き出されて一定角度前傾した前傾位置との間で、往復回動可能な構
成となっている。これにより、孔付傾斜台4を前傾させると、容器保持部4
aがソフトクリーム状食品用サーバー1外に露出するので、容器保持部4a
に対して押出容器を着脱することができる(第3図)。

(3) 前記押圧部材5は、前記通常位置にある孔付傾斜台4の斜め上方から、容
器保持部4aに対向するように互いに同心状態で配され、容器保持部4aを
支持している孔付傾斜台4の傾斜面に対し、垂直方向に沿って往復動を行い
得るように構成されている。

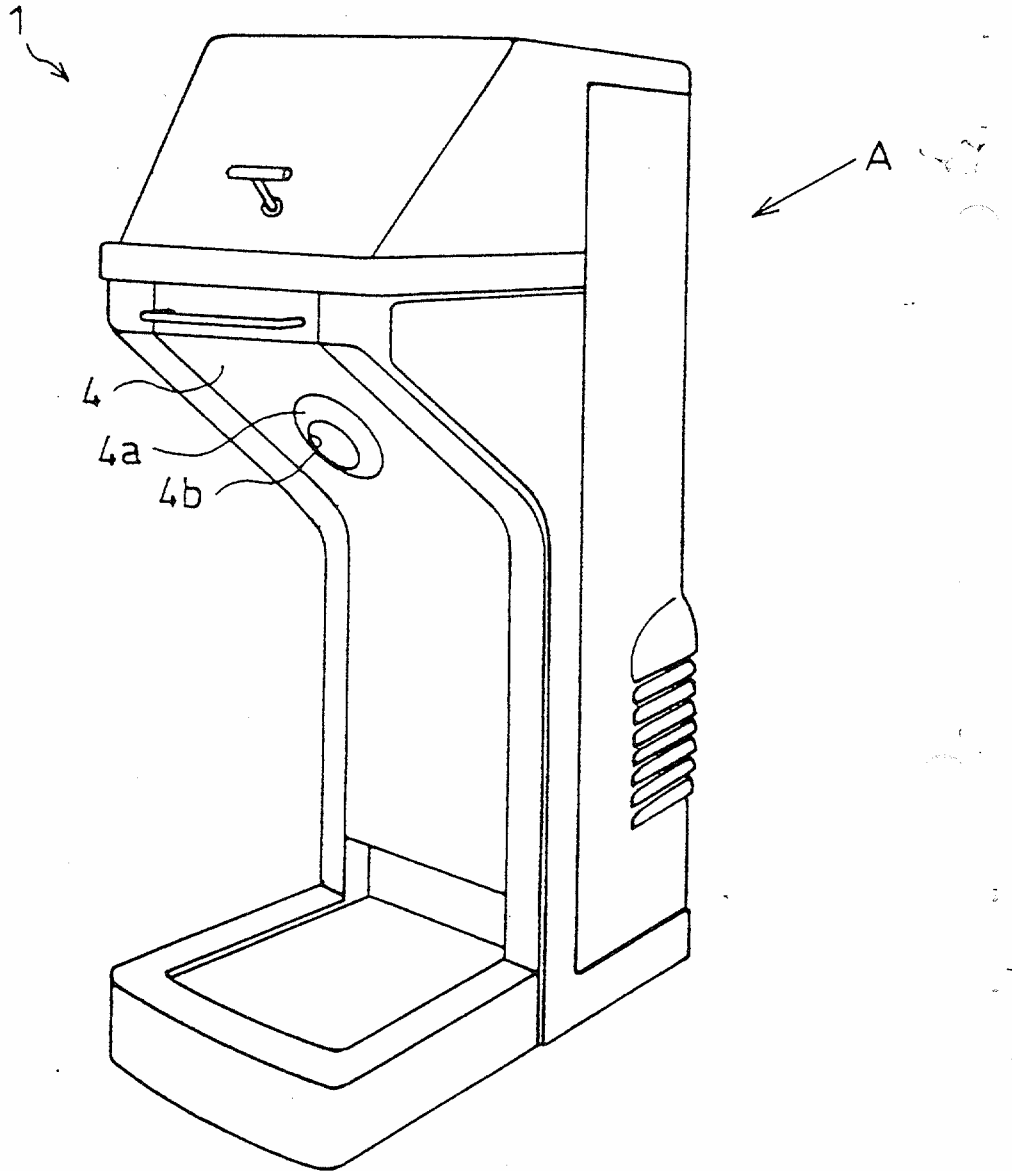
これにより、上記傾斜面に対する垂直方向に沿う孔付傾斜台4および押圧
部材5の相対的接近運動の一形態として、押圧部材5が容器保持部4aに向
かって下降すると、押圧部材5の下面が押出容器に当接する。さらに、押圧
部材5が下降すると、押出容器の内容積が圧縮される(第5図(b))。この結
果、ソフトクリーム状食品は、押出容器の圧縮に伴って、押出食品通路4b

を通過し、下方で待機していた喫食用容器内に押し出される。

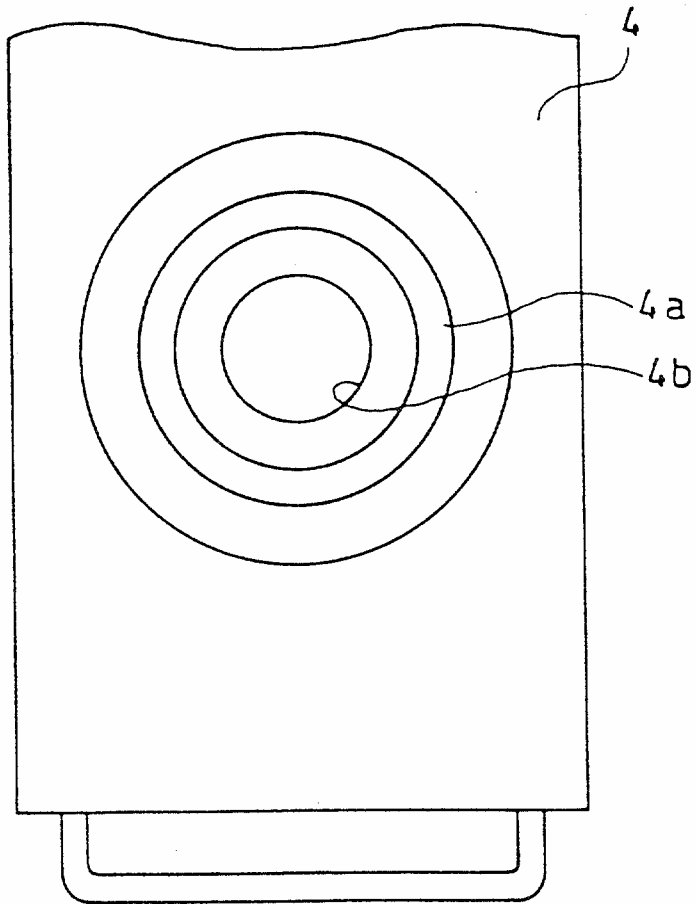
(4) なお、押圧部材5と孔付傾斜台4とを相対的に接近させる駆動部6は、駆動ロッド6a、プランジャー6bおよびシリンダ6cを備えている。駆動ロッド6aは、押圧部材5の中心から上記孔付傾斜台4の傾斜面に対して垂直上方に延び、シリンダ6c内に嵌入している。また、駆動ロッド6aの上端には、シリンダ6c内で滑動するプランジャー6bが接合されている。シリンダ6cの上面付近および底面付近には、上部吸排気口6dおよび底部吸排気口6eがそれぞれ設けられている。

また、容器保持部4aに装着された押出容器からソフトクリーム状食品を押し出すときに、押出容器の周縁部を容器保持部4aの外周部に押し付けることで、ソフトクリーム状食品が押出容器の周縁部から漏出するのを防止するスカート状の蓋押さえ6fが、駆動ロッド6aの下方部位にて押圧部材5を囲うように配されている。この蓋押さえ6fは、スプリング6gを介して駆動ロッド6aの中央部付近から吊設されている。

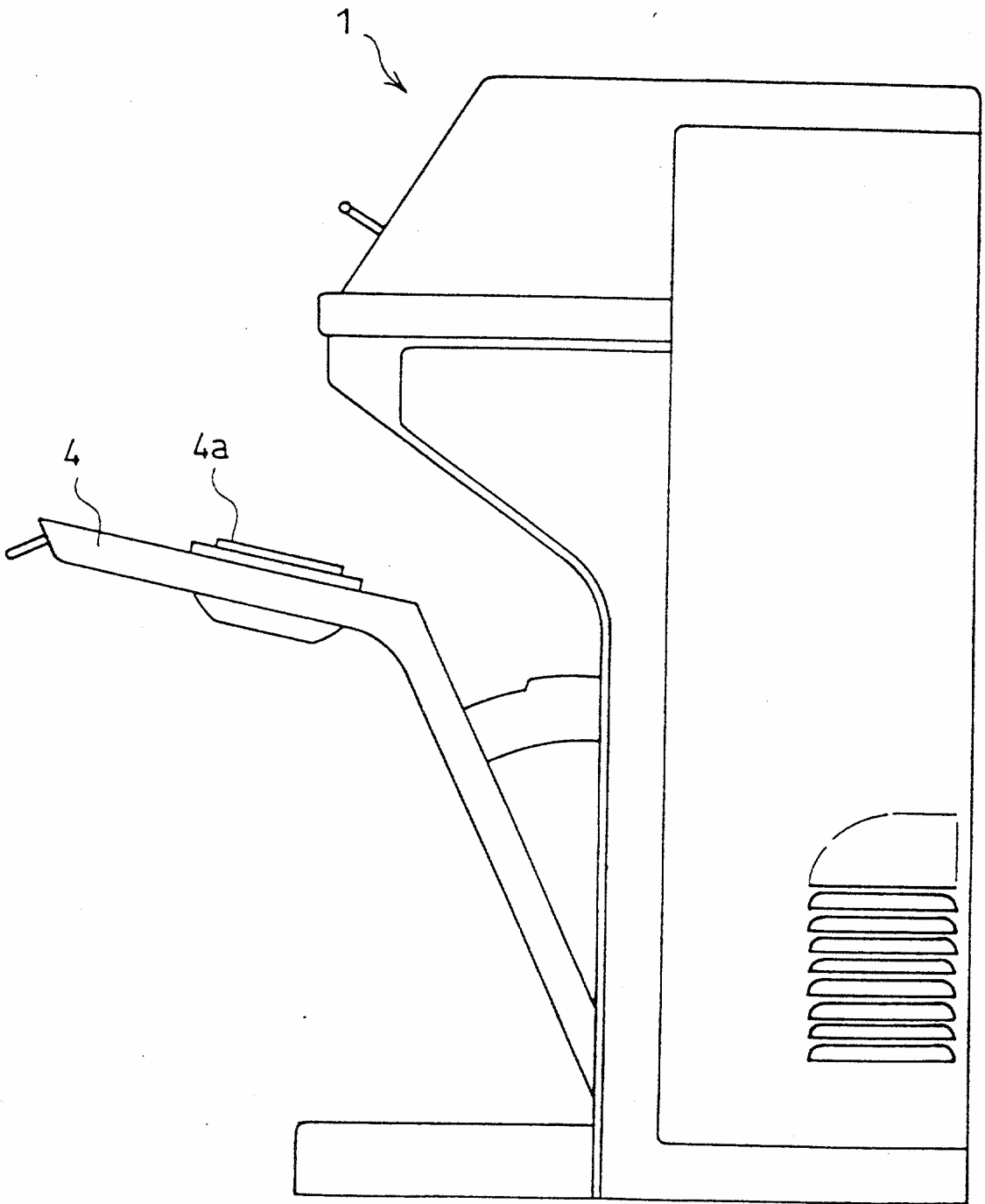
第 1 圖



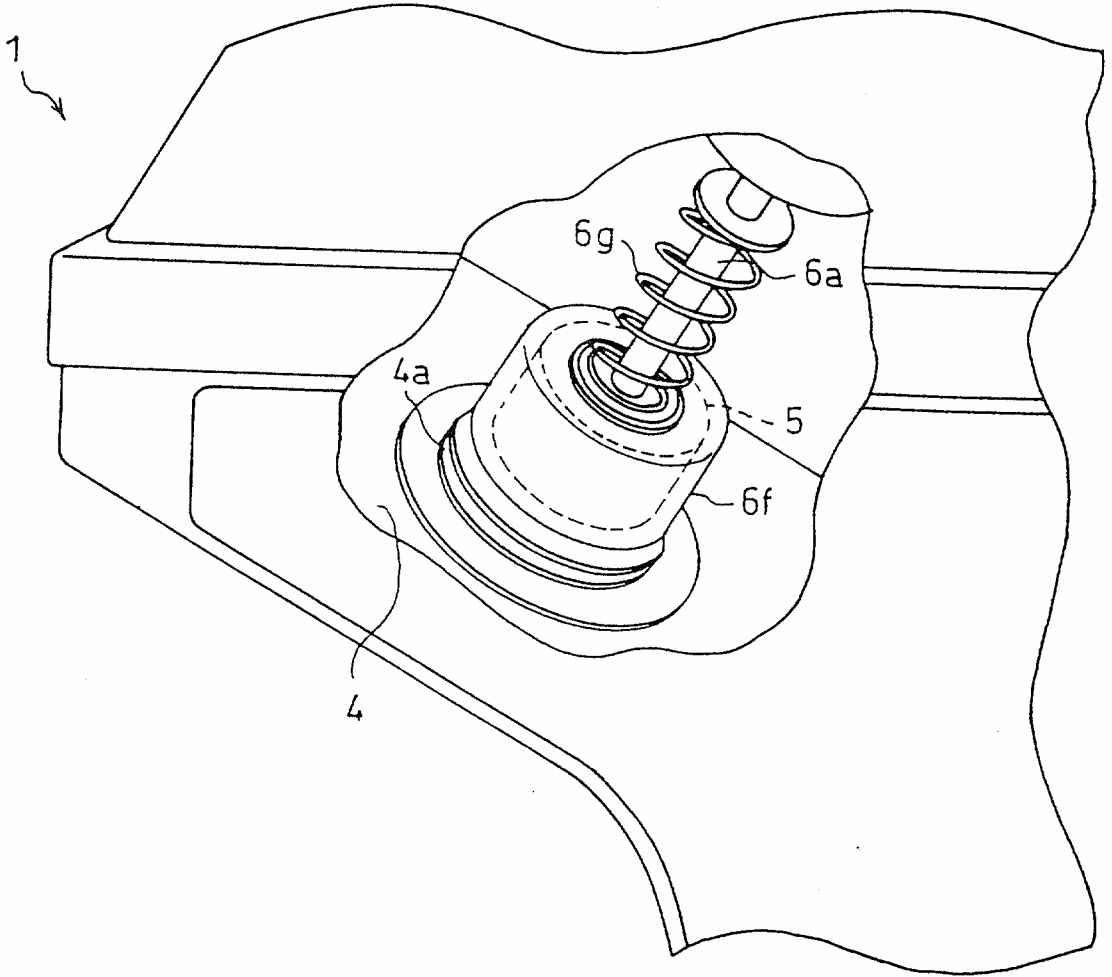
第 2 圖



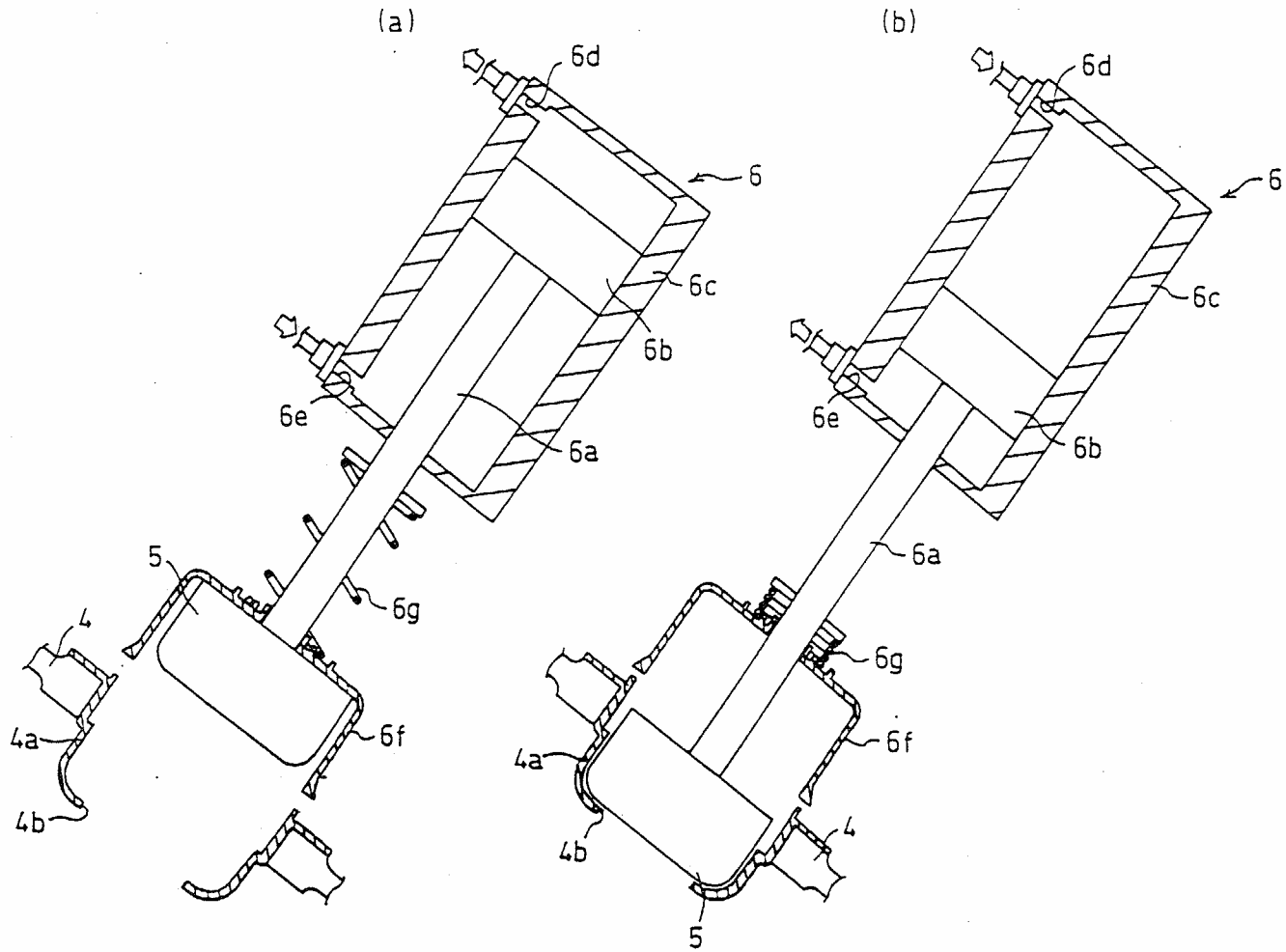
第 3 图



第 4 图



第 5 図



□ □ 参考図説明書

一 図面の簡単な説明

第1図は、ソフトクリーム状食品用サーバー1の外観を示す斜視図である。

第2図は、一回量ずつのソフトクリーム状食品を充填するための押出容器2の構造を示す縦断面図である。

第3図は、前記ソフトクリーム状食品用サーバー1に、前記押出容器2を装着して保持するために、孔付傾斜台4に設けられた容器保持部4aを示す平面図である。

第4図は、前記ソフトクリーム状食品用サーバー1に対し前記押出容器2を着脱するために、前記孔付傾斜台4を前傾させた状態を示す側面図である。

第5図は、前記孔付傾斜台4の傾斜面に対して垂直方向の上方位置において

、容器保持部 4 a に対向するように配置された押圧部材 5 を、第 1 図に図示の矢印 A 方向から見て示す、破断部を含む要部拡大斜視図である。

第 6 図 (a) および第 6 図 (b) は、前記孔付傾斜台 4 および前記押圧部材 5 を相対的に接近させるための駆動部 6 の構成と、押圧部材 5 の動作とを概略的に示す要部説明図である。

二 構成の説明

(1) ソフトクリーム状食品用サーバー 1 は、押出容器 2 に充填されたソフトクリーム状食品を喫食用容器 3 内へ押し出すための装置であり、小分け押出容器入りソフトクリーム状食品を保持する孔付傾斜台 4 (第 1 図および第 4 図) と、該孔付傾斜台 4 の斜め上方に位置する押圧部材 5 (第 5 図および第 6 図 (a) (b)) とを備えている。

(2) 前記押出容器 2 は、可塑性樹脂の成形品であり、底面中央部に排出口 2 a が形成された本体 2 b と、本体 2 b に嵌着される蓋板 2 c と、排出口 2 a を外側から塞ぐ補助蓋板としての貼付シール 2 d とで構成されている (第 2 図

また、押出容器 2 には、喫食用容器 3 に盛り付けるソフトクリーム状食品の 1 回分量が充填されている。

(3) 前記孔付傾斜台 4 には、押出容器 2 の外形に即した凹部形状を有する容器保持部 4 a が設けられている。容器保持部 4 a の底部中央には、押出容器 2 の排出口 2 a から押し出されたソフトクリーム状食品を排出する押出食品通路 4 b が形成されている（第 1 図、第 3 図および第 6 図(a)(b)）。

これにより、押出容器 2 を容器保持部 4 a に装着することによって、孔付傾斜台 4 は、押出容器 2 からソフトクリーム状食品を喫食用容器 3 内へ押し出す間、押出容器 2 を定位置に保持することができる。

また、孔付傾斜台 4 は、容器保持部 4 a を、ソフトクリーム状食品の供給が行われる通常位置と、通常位置からソフトクリーム状食品用サーバー 1 の手前に引き出されて一定角度前傾した前傾位置との間で、往復回動可能な構成となっている。これにより、孔付傾斜台 4 を前傾させると、容器保持部 4

aがソフトクリーム状食品用サーバー1外に露出するので、容器保持部4aに対して押出容器2を着脱することができる(第4図)。

なお、容器保持部4aに押出容器2を装着する前に、前記貼付シール2dを本体2bから剥がしておく。

(4) 前記押圧部材5は、前記通常位置にある孔付傾斜台4の斜め上方から、容器保持部4aに対向するように互いに同心状態で配され、容器保持部4aを支持している孔付傾斜台4の傾斜面に対し、垂直方向に沿って往復動を行い得るように構成されている。また、押圧部材5は、前記本体2bの内側形状に適合した凸形状を有している。

これにより、上記傾斜面に対する垂直方向に沿う孔付傾斜台4および押圧部材5の相対的接近運動の一形態として、押圧部材5が容器保持部4aに向かって下降すると、押圧部材5の下面が押出容器2の蓋板2cに当接する。さらに、押圧部材5が下降すると、蓋板2cは押圧部材5と一体になって本体2b内に押し込まれるため、押出容器2の内容積が圧縮される(第6図(b))

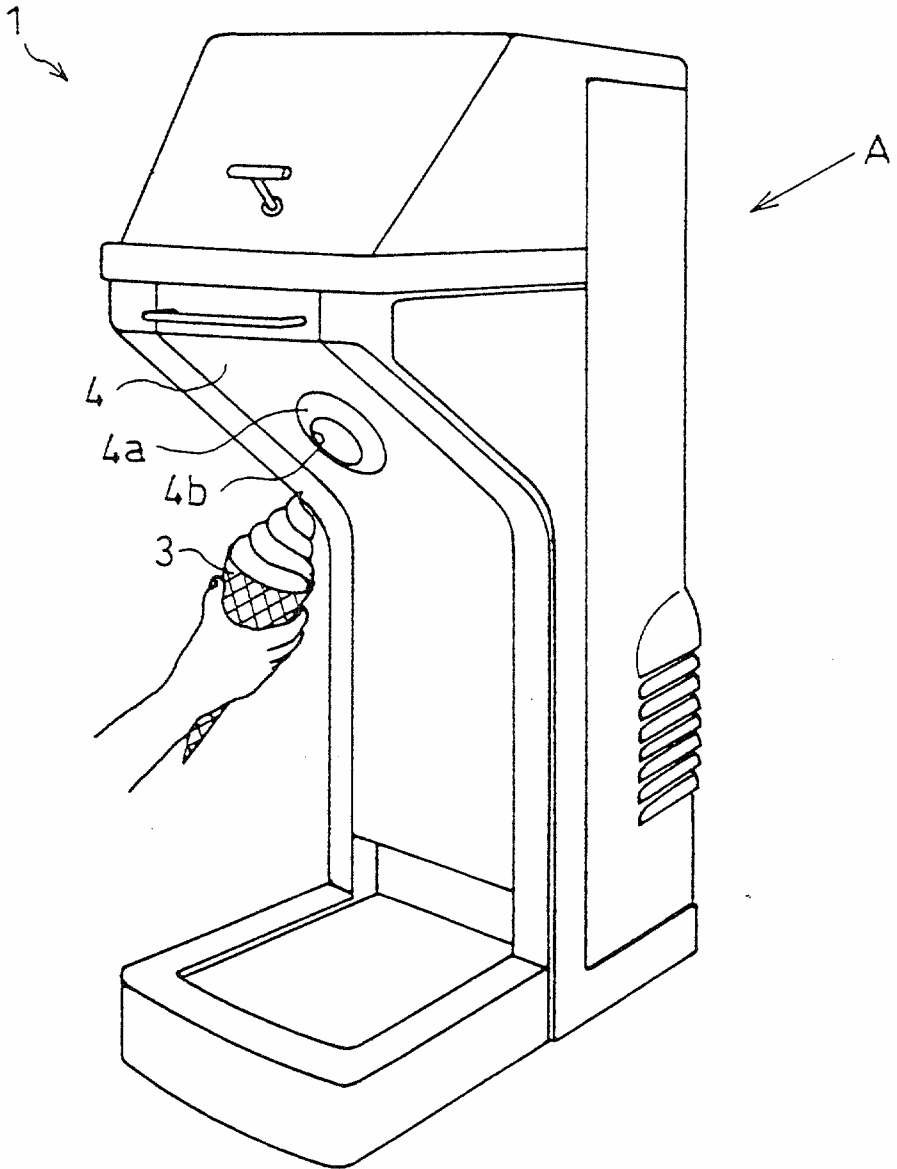
）。この結果、ソフトクリーム状食品は、押出容器2の圧縮に伴って、押出容器2の排出口2 aおよび容器保持部4 aの押出食品通路4 bを通過し、下方で待機していた喫食用容器3内に押し出される。

(5) なお、押圧部材5と孔付傾斜台4とを相対的に接近させる駆動部6は、駆動ロッド6 a、プランジャー6 bおよびシリンダ6 cを備えている。駆動ロッド6 aは、押圧部材5の中心から上記孔付傾斜台4の傾斜面に対して垂直上方に延び、シリンダ6 c内に嵌入している。また、駆動ロッド6 aの上端には、シリンダ6 c内で滑動するプランジャー6 bが接合されている。シリンダ6 cの上面付近および底面付近には、上部吸排気口6 dおよび底部吸排気口6 eがそれぞれ設けられている。

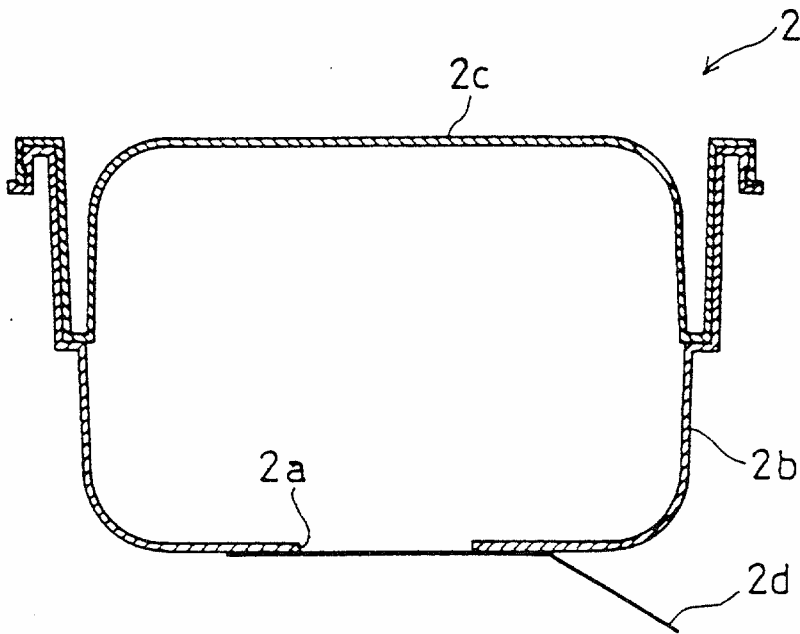
また、容器保持部4 aに装着された押出容器2からソフトクリーム状食品を押し出すときに、蓋板2 cの周縁部を容器保持部4 aの外周部に押し付けることで、ソフトクリーム状食品が蓋板2 cの周縁部から漏出するのを防止するスカート状の蓋押さえ6 fが、駆動ロッド6 aの下方部位にて押圧部材

5を囲うように配されている。この蓋押さえ6fは、スプリング6gを介して駆動ロッド6aの中央部付近から吊設されている。

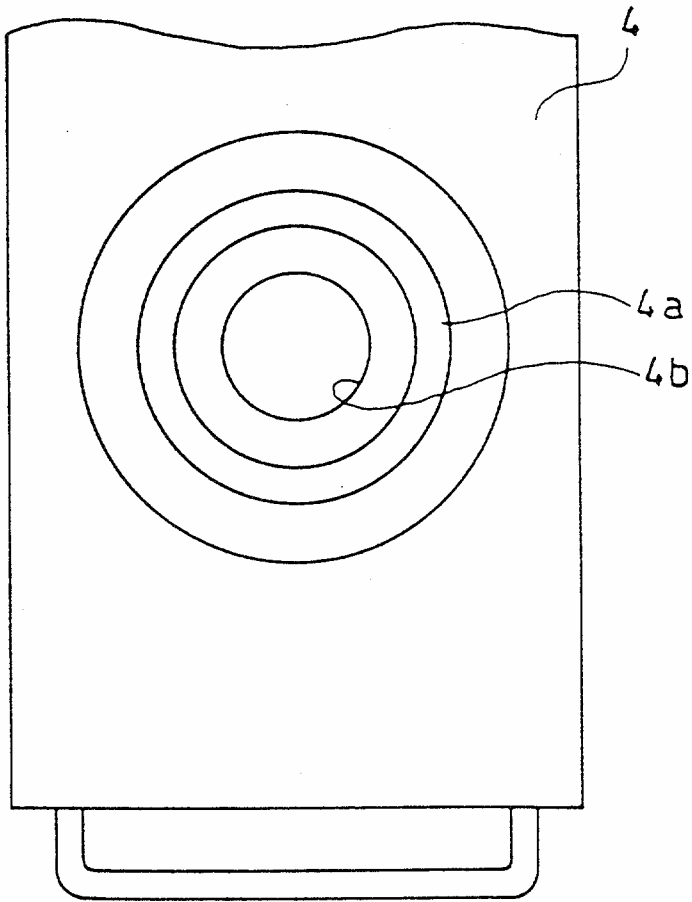
第 1 圖
(參考圖)



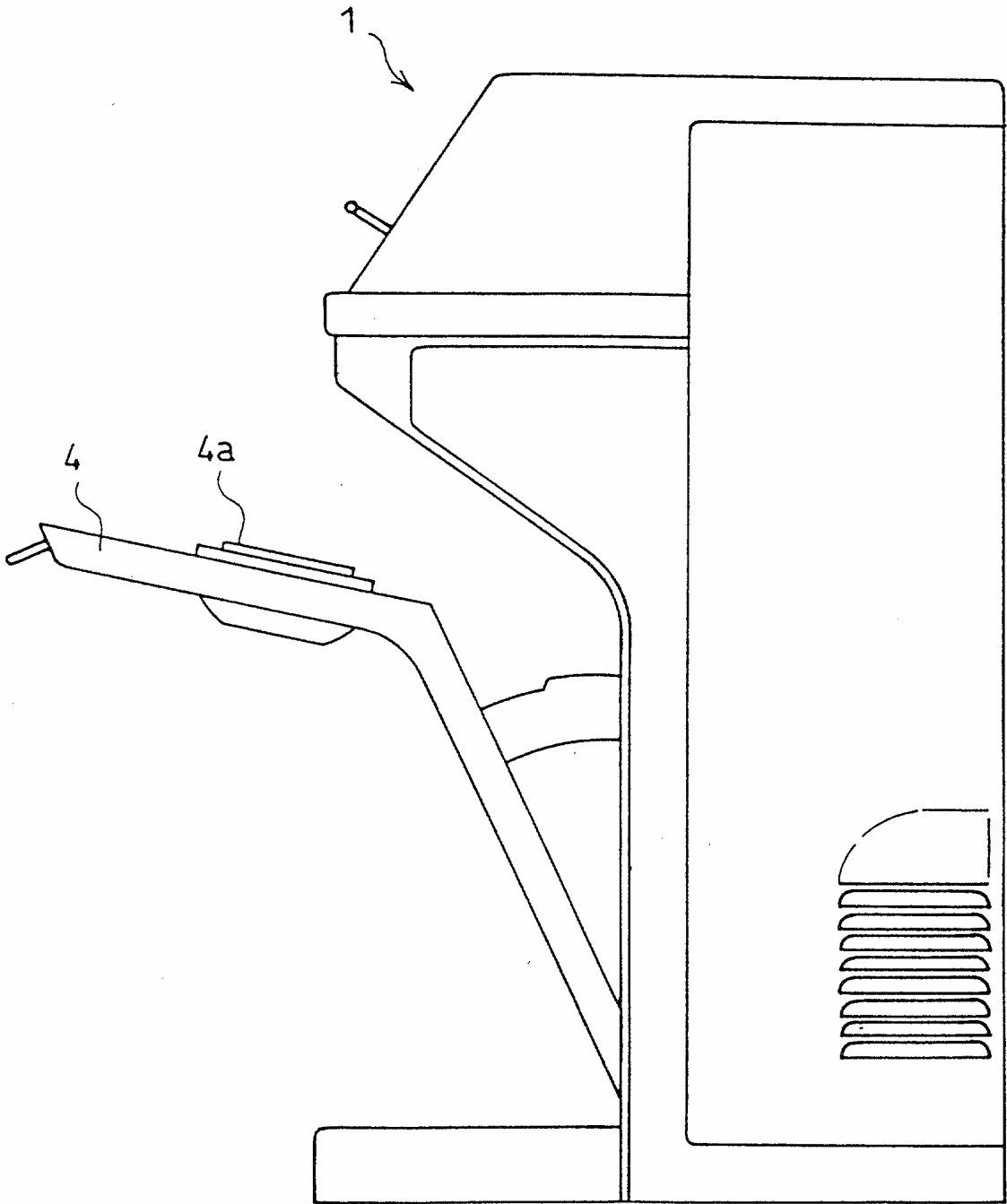
第 2 图 (参考图)



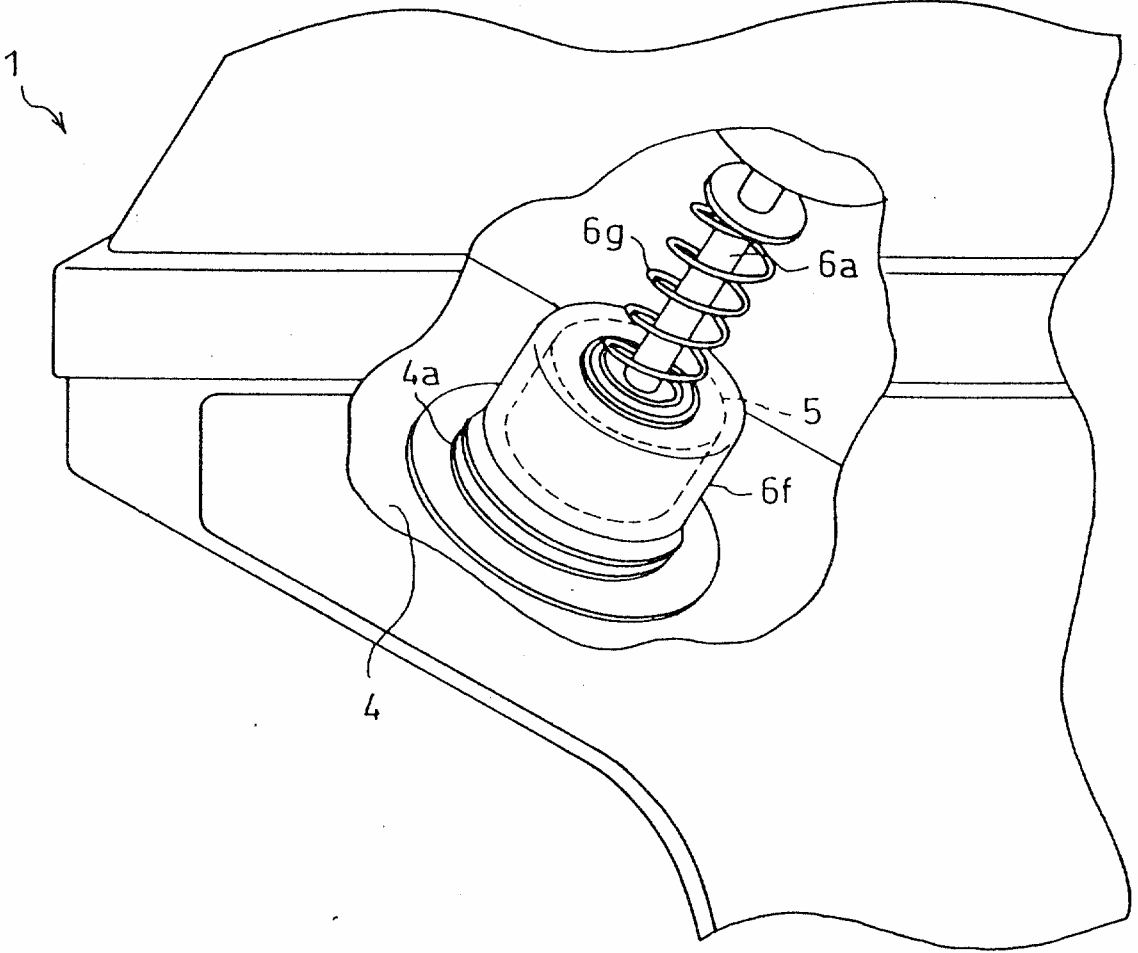
第 3 图 (参考图)



第 4 圖 (參考圖)



第 5 図 (参考図)



第 6 图 (参考图)

